

コンテナ表面の放射線量（仙台塩釜港仙台港区高砂コンテナターミナル）

【 令和7年 12月 】

(単位: 個, $\mu\text{Sv}/\text{h}$)

月日	サンプル数	最大値	最小値	大気中の放射線量	対応必要コンテナ
12月1日 (月曜日)	149	0.077	0.065	0.066	0
12月2日 (火曜日)	149	0.076	0.065	0.065	0
12月3日 (水曜日)	136	0.084	0.065	0.066	0
12月4日 (木曜日)	143	0.072	0.065	0.064	0
12月5日 (金曜日)	144	0.072	0.065	0.065	0
12月6日 (土曜日)	38	0.067	0.066	0.066	0
12月8日 (月曜日)	192	0.079	0.065	0.065	0
12月9日 (火曜日)	189	0.079	0.064	0.065	0
12月10日 (水曜日)	162	0.074	0.065	0.065	0
12月11日 (木曜日)	166	0.071	0.065	0.065	0
12月12日 (金曜日)	145	0.071	0.064	0.066	0
12月13日 (土曜日)	58	0.070	0.064	0.064	0
12月15日 (月曜日)	207	0.080	0.065	0.064	0
12月16日 (火曜日)	176	0.093	0.064	0.065	0
12月17日 (水曜日)	191	0.084	0.064	0.064	0
12月18日 (木曜日)	191	0.076	0.063	0.064	0
12月19日 (金曜日)	163	0.071	0.064	0.065	0
12月20日 (土曜日)	60	0.071	0.065	0.066	0
12月22日 (月曜日)	176	0.071	0.064	0.065	0
12月23日 (火曜日)	142	0.071	0.064	0.065	0
12月24日 (水曜日)	118	0.076	0.066	0.069	0
12月25日 (木曜日)	105	0.077	0.065	0.067	0
12月26日 (金曜日)	69	0.071	0.065	0.067	0
12月27日 (土曜日)	11	0.067	0.065	0.066	0
合計	3,280	-	-	-	0

※最大値及び最小値は、コンテナ表面のセシウム137以外の自然由来（ラジウム等）の放射性物質をもした場合にも測定値が高くなることがあります。

測定値が下記基準値を超過した場合、エネルギー分析の結果が原発事故由来の放射性物質であるセシウム137以外の場合は、対応必要コンテナに計上しません。

除染基準値：バックグラウンド値（大気中の放射線量）×3または $0.2\mu\text{Sv}/\text{h}$ +バックグラウンド値（いずれか高い方の値）

通報基準値： $5\mu\text{Sv}/\text{h}$